



感染症の流行を防ぐために

予防接種を受けましょう

病気に罹らないように、また、重症にならないように、まだ接種していないお子さんは、予防接種を受けましょう。対象者は無料で接種できます。

※接種期間を過ぎて接種した場合、全額自己負担になります。

※予防接種がお手元ない場合は、母子健康手帳をご持参のうえ、健康推進課（保健センター内）又は支所市民福祉課（アスパピアこども内）の窓口へお越しください。

生後12月から24月に至るまでに1回接種し、2期は小学校就学前の1年間に1回接種します。

・1期 3回接種
・2期 9歳以上で1回接種
※1期の接種後、おおむね5年の間隔を空けて接種してください。

対象 平成25年4月2日～平成26年4月1日生まれの方

接種期間 令和2年3月31日(火)まで

※この期間に生まれた方も、20歳の誕生日以降の接種は全額自己負担になります。

接種期間 20歳の誕生日の前日まで



現在、接種の積極的な勧奨を一時的に差し控えています。

ただし、定期接種自体は中止しないため、希望者は継続して受けることができます。接種を希望する方は、有効性及び副反応等について十分に理解したうえで、接種を受けてください。

①二種混合（ジフテリア・破傷風）予防接種

予診票は、11歳の誕生日の翌月に郵送しています。

対象 11歳以上13歳未満

接種期間 11歳の誕生日の前日から13歳の誕生日の前日まで

②麻しん・風しん（MR）予防接種

麻しん・風しんの1期は

接種回数

19年4月1日生まれの方

20歳の誕生日の前日まで接種することができます。

次の期間に生まれた方は特例の対象となりますので、現在までの接種回数を確認し、不足回数を接種してください。

○平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれの方

20歳の誕生日の前日まで接種することができます。

④子宮頸がん予防ワクチン

前日まで

接種期間 9歳の誕生日の前日から13歳の誕生日の前日まで

★健康推進課（保健センター内） ☎ 24-20003

対象 小学6年生～高校1年生の女子

★健康推進課（保健センター内） ☎ 24-20003

医療メモ 本庄市児玉郡医師会広報部 百日咳と予防接種（ワクチン）

これまで人類は、細菌、ウイルスと予防接種で闘ってきました。その中で完勝したのは天然痘のみです。ポリオはゴールが見えていますがもう少しです。麻しん、風しんは、多くの国で排除宣言が出されていますが、日本では風しんはまだまだです。水痘、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）もしかりです。多くのワクチンがいろいろ課題を抱えています。今回は百日咳に焦点を当ててみます。

百日咳は、主に百日咳菌が口や鼻から入って感染する病気です。百日咳の咳は特徴的です。顔を真っ赤にしてコンコンと連続して咳込んだ後に、急にヒューと吸い込む症状を繰り返します。そして、咳込んだ後に嘔吐します。また、無呼吸を起こすことがあります。症状が典型的なものは比較的診断されやすいのですが、予防接種をしてあると症状が非典型的となり、見逃されやすくなります。大人の長引く咳も疑われる所見の1つです。診断がつくと有効な抗生剤が投与されます。しかし、抗生剤が投与されても、苦しい咳がすぐに改善するわけではありません。新生児、乳児がかかるのが致命的になる病気です。そこで予防接種が重要になってきます。

現在、百日咳患者の年齢分布では、乳児、小学校低学年、成人の3つのピークがあるといわれています。そこで、日本における百日咳予防接種（ワクチン）の現状を見てみましょう。現在、百日咳ワクチンは、4種混合ワクチン（4混）の中に入っています。4混は、生後3か月からで、その後4週おきに計3回行い、1歳になって追加の4回目を接種して終わりです。

一方、外国では百日咳予防接種（ワクチン）を生後2か月から始めます。また、年長の麻しん、風しんワクチン接種の頃に3混か4混で追加し、小学校5・6年生頃に3混で追加接種している状況となっています。

そこで、日本小児科学会では、百日咳抗体が低下している年長児と5・6年生に3混の任意接種を推奨しているところです。



休日・夜間の急病のときは…

●本庄市児玉郡医師会立本庄市休日急患診療所 ☎ 23-3322

本庄市保健センター内で、内科系の比較的症状が軽く、入院の必要がない方の診療を行います。

※診療以外に関する問い合わせ・電話相談はご遠慮ください。

▶診療日 日曜・休日・年末年始（12/30～1/3）・平日木曜日夜間

▶診療時間 午前9時～正午、午後1時～4時、午後7時～10時（平日木曜日夜間は午後8時～10時）

※健康保険証を持参してください。

※夜間の診療は午後9時45分までに受付をしてください。

●在宅当番医療機関 ▶診療時間 午前9時～正午

6月2日(日)	根岸医院	児玉町児玉	☎ 72-0071
6月9日(日)	服部クリニック	東台4丁目	☎ 24-4671
6月16日(日)	春山眼科医院	けや木1丁目	☎ 21-2160
6月23日(日)	ヒグチクリニック	栗崎	☎ 25-5300
6月30日(日)	堀川病院	本庄1丁目	☎ 22-2163
7月7日(日)	松本産婦人科医院	千代田1丁目	☎ 24-3377

●困ったときは電話相談を！

ほんじょう健康相談ダイヤル 24（相談料・通話料無料）

☎ 0120-122-885

健康・医療・出産・育児・介護などの相談、医療機関情報の提供を行います。（市内在住者が対象）

▶受付時間 24時間・年中無休

埼玉県救急電話相談（通話料利用者負担）

☎ # 7119

救急医療相談に看護師が対応します。健康相談・育児相談には対応しません。（大人・小児共通）

※IP電話、ひかり電話、ダイヤル回線からは ☎ 048-824-4199

▶受付時間 24時間・年中無休

下記の電話番号からも救急電話相談が利用できます。

○大人の救急電話相談 # 7000

○小児救急電話相談 # 8000 又は ☎ 048-833-7911

★119番は緊急時（火災やけが人など）の受付専門電話番号です。医療機関情報については、[児玉郡市広域消防本部指令課 ☎ 24-1119](#)でご案内していますのでご利用ください。診療科目によっては県外や児玉郡市以外の病院をご案内する場合があります。

埼玉県後期高齢者医療 健康長寿歯科健診を受診しませんか

埼玉県後期高齢者医療広域連合給付課 ☎ 048-833-3130

埼玉県後期高齢者医療広域連合では、前年度75歳になった後期高齢者医療被保険者を対象に、歯科健康診査を実施します。お口の健康は全身の健康につながります。疾病予防、健康の維持増進のためにぜひ受診してください。

●対象 昭和18年4月2日から昭和19年4月1日生まれで後期高齢者医療被保険者証をお持ちの方

●実施期間

7月1日(月)～令和2年1月31日(金)

※詳細は、6月下旬に届く受診案内をご覧ください。